



病院住所表記変更のご案内

9月13日付けにて、岡崎医療センターの住所表記が変更となりました。お手数をおかけしますが、ご確認のほどお願い申し上げます。なお、電話番号の変更はございません。



新住所について

〒444-0829 岡崎市針崎西2丁目6番地1



地域医療支援研修会のご案内

当院では2021年4月より「地域の医療従事者へ向けた研修会」を毎月1回開催しており、当院の診療実績や診療科特徴、認定看護師やコメディカルによる専門分野の講演などを開催しています。ご興味ございましたら、ぜひご参加を賜りますようお願い申し上げます。

当日の視聴ができない方へ

事前にウェビナー登録をいただきましたら、研修会終了後に事前登録者限定にて、オンデマンド配信のご連絡メールをお送りしております。皆さまのご参加をお待ちしております。



視聴方法 および 今後の開催予定閲覧方法

- ①右記URLまたは二次元コードからアクセス
→当院HPの“医療機関向けページ”へ。
- ②“地域医療支援研修会について”をクリック
→ <1>年間スケジュール
<2>参加方法
を掲載しておりますので、ご覧ください

<https://qr.paps.jp/ZEBfz>



地域の医療機関の皆さまへ

FUJITA HEALTH UNIVERSITY
OKAZAKI MEDICAL CENTER

News Letter

2025.10

命をつなぐ、循環器のチカラ



CONTENTS

- ・循環器内科が目指すハートチーム医療
- ・現在の取り組み・トピックス

- 1) 微小血管狭心症の診断：冠微小循環機能検査
- 2) 高度石灰化病変を持つ複雑冠動脈疾患に対する血管内破裂術
- 3) 心房細動に対するカテーテルアブレーション



現在の取り組み・トピックス

1) 微小血管狭心症の診断:冠微小循環機能検査

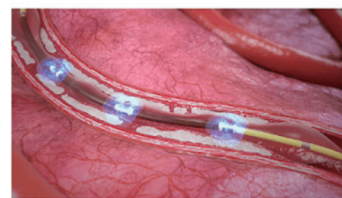
近年、心筋内の微小な血管に異常をきたすことで生じる**微小血管狭心症**が注目されています。この患者さんは、原因不明の胸痛として正確な治療を受けることなく、予後が不良であることが報告されており、正確な診断が最近のガイドラインで推奨されています。当院では、一昨年から、いち早くこの微小血管狭心症が診断可能な**CoroFlow™ カーディオオバスキュラーシステム**を導入し、カテーテル治療だけでなく、原因不明の胸痛患者さんの予後改善に努めております。



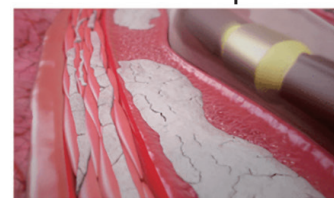
2) 高度石灰化病変を持つ複雑冠動脈疾患に対する血管内破砕術 SHOCKWAVE C2™システム



Step 1 | IVLカテーテルで石灰化病変をクロスします



Step 2 | エミッターから音圧波が生成されます



STEP 3 | 音圧波により石灰化病変がモデルフィケーションされます

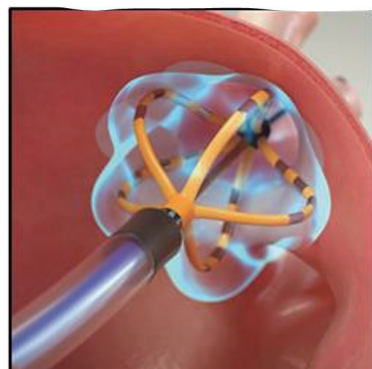
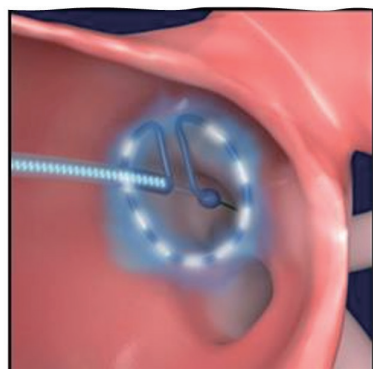
Shockwave Medical Japan HP

高齢化に伴い、動脈硬化の最重症過程である高度石灰化を持つ患者数は、年々増加しています。石灰化病変は、カテーテル治療が進化した現在でも、手技に難渋することが少なくありません。これを解決すべく手法の一つに、**音圧波を利用し石灰化を破砕するSHOCKWAVE C2™ システム**が近年開発されました。当院では、同システムを導入し、他の石灰化切削術(Rotablator™, Diamondback 360™)とともに、石灰化治療に対する手技の安全性と、成功率向上に努めております。

3) 心房細動に対するカテーテルアブレーション(パルスフィールドアブレーション)

カテーテルによる肺静脈隔離術は、発作性心房細動に有効な治療法になりますが、近年、**高電圧を利用したパルスフィールドアブレーション**が注目されています。これは心筋だけが障害されるため、

従来の熱焼灼(高周波、クライオバルーン)と比べて重篤な合併症が低減できる可能性があり、安全性が高いことが示唆されています。当院では、木曜日の不整脈外来(担当:越川)が窓口となっておりますので、心房細動でお困りの患者様が見えたら、ご紹介いただければ幸いです。



Medtronic's PulseSelect™ and Boston Scientific's Farapulse™ catheters

文責: 循環器内科 大田将也



岡崎医療センター 循環器内科が目指すハートチーム医療

当院循環器内科では、生命に危険の及ぶ重症な心臓疾患の患者さんに対応するべく、ハートチームを結成し、急性期から慢性期・社会復帰に至るまで幅広く診療を行っています。**当院ハートチームの目指す医療は、個々の患者さんやご家族のご意向を尊重し、最後まであきらめることのない、最大限メリットのある医療を提供することです。**

このため、循環器内科・心臓血管外科がタッグを組み、看護師・臨床工学技士・放射線技師・薬剤師・理学療法士など様々な職種が関わり、臆することなく日々研鑽を積んでおります。今後も、岡崎市・幸田地区を中心に、大学病院として最新の心臓病診療を提供できるよう努めていく所存です。地域の先生方におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

対象とする疾患・診療内容



当院では、救急医療に重点を置いていることもあり、急性心筋梗塞・急性心不全・肺塞栓症や心臓弁膜症・大動脈解離、不整脈を中心に、中等症から重症な循環器疾患を幅広く受け入れております。特に、冠動脈インターベンション(PCI)においては、半数近くが急性冠症候群(ACS)となっており、補助循環(IABP;大動脈内バルーンポンピング・ECMO;人工心肺)を要する重症例も年々増加しています。また、閉塞性動脈硬化症への血管内治療(EVT)も一昨年より開始し、重症下肢虚血の症例に対しても、他科と協力しながら診療にあたっております。一方、不整脈診療におきましては、心房細動に対するカテーテルアブレーションや、植え込み型デバイス(ペースメーカー・植え込み型除細動器・両室ペーシング)を中心に、木曜日に不整脈外来を開設し、積極的に対応しております。



岡崎医療センター 循環器内科 スタッフ構成



准教授 診療科長 **大田 将也**

○専門
虚血性心疾患・末梢動脈疾患・高血圧
心筋梗塞や狭心症のカテーテル治療(PCI)
閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療(EVT)



病院特命教授 **尾崎 行男**

○専門
虚血性心疾患・心臓弁膜症
心筋梗塞や狭心症のカテーテル治療(PCI)
心臓弁膜症のカテーテル治療(TAVI)



講師 **越川 真行**

○専門
不整脈
カテーテルアブレーション・デバイス植え込み

講師 **吉木 優** 医師 **宮島 桂一**
医師 **川島 直之** 医師 **鈴木 陽介**